

リニューアル新連載

もう、悩まない!

『石原健のHOTEL LOVERS』

#1

ヒルトン・ワールドワイド・セールス
日本・韓国・ミクロネシア地区統括部長
あみくら
網藏 二郎氏

週刊HOTERESで毎月2・4週号に連載していた対談連載「もう、悩まない!『石原健のHOTEL LOVERS』」を誌面リニューアル。対談形式は変わらずに、ゲストを迎える連載企画。月刊誌の第1回目のゲストは、ヒルトン・ワールドワイド・セールス 日本・韓国・ミクロネシア地区統括部長の網藏二郎氏。石原氏と網藏氏の出会いは、1990年にヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルの開業準備室の時代にまでさかのぼる。



ヒルトン・ワールドワイド・セールス 日本・韓国・ミクロネシア地区の統括部長 網藏 (あみくら) 二郎氏

仕事は、より一層の
努力を惜しまずにやることで、
自ずと自身の市場評価は高まる

石原 最初に、ホテリエになった
きっかけを教えてください。

網藏 学生時代にニューヨークを訪れた際に、ウォルドーフ・アストリア・ニューヨークで食事をする機会がありました。その際に同ホテルで働くホテリエは一流のパーソナルなサービスを提供し、そのホテルを訪れるお客さまは国際的に働くビジネスパーソンが多く、別世界を見たことでホテルという空間の持つ魅力に感動しました。後にインターコンチ

ネンタルホテルが横浜に第一号店を
進出させることを知り、ホテル業界
に飛び込みました。

石原 ささまざまな企業で活躍され現
在に至りますが、どのようにして自
分自身のブランド力を上げてこれま
したか。

網藏 正直なところ、私はネット
ワーキングやいわゆる仕事アフ
ターの立ち回りは得意ではありま
せん。そういう場では自身のアピ
ールは苦手です。「その時その仕事で
会社の求める成果」「もう一押し、
もう一步先を目指し成果を求め続
けることを忘れないこと」「間違い
に気づいたらすぐに軌道修正すれ
ばよいこと」「一度決めたからと言
えそれが絶対ではないこと」「参考
になるアドバイスになることには
柔軟に耳を貸すこと」——そのよう
に仕事をしていると自ずと結果は
見えてくる。そして自然と自分の市
場価値は上がると信じて行動して
きました。

石原 仕事をしていく中で特に気を

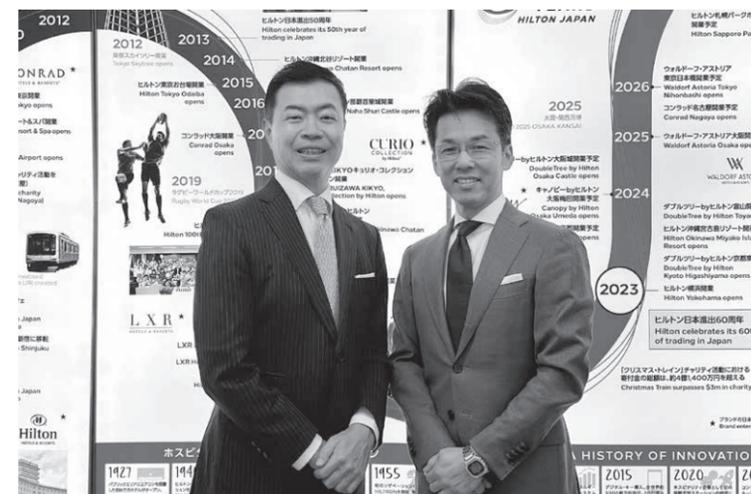
付けている点はありますか。

網藏 チームリーダーとして動くこ
とが多くなったので、決断力と共に、
コミュニケーション能力を伸ばすこ
とも力を入れています。

外国人チームメンバーや取引先も
含め、まずは話を聞くこと。相手が
何を伝えたいのかをじっくり聞くこ
とが1丁目1番地です。それから、
向かう方向性を示した時に、そこへ
の到達方法は皆それぞれ違うことを
意識して、各自がそれに向かう道
をサポートしていくことに注力して
います。チームメンバーが働きやす
く活躍できれば、自ずと自分も活
きるからです。また、物事をできる
限りシンプルに考えるようにしま
す。難しい問題も原因は意外に簡単
で自ら複雑に考えているときもあ
るので、それに気づくことも大切で
すね。

失敗は数知れず。
その経験を糧に今の自分がある

石原 思い出に残る接遇や失敗談を
聞かせてください。



(株)ホスピタリティデザイン 横浜の代表取締役 石原健氏(写真左)と、ヒルトン・ワールドワイド・セールス 日本・韓国・ミクロネシア地区の統括部長 網藏(あみくら)二郎氏(写真右)。二人は約35年の付き合いで、私生活では結婚式の司会を務める間柄

網藏 1番思い出に残っているのは、
横浜で勤務していた入社3年目に
シンガポールへ初めて海外出張に
行き、そこで受注した約15名のグ
ループのオーガナイザーからホテル
滞在中の細やかなケアに対する感謝
状をいただいたことです。マリオ
ットに移った後もお仕事をいただき、
その方とは約25年経った今でもま
だ連絡を取り合っています。

失敗はいろいろと数え切れず、英
語でのプレゼンも苦手な度々悔し
い思いをしました。海外での会議に
参加した際には、自分の国際感覚
や言語だけでは上手くコミュニケ
ーションをとるのが難しいことに気
づかされました。それでも、いっ
ぱい恥をかって今があるのでよか
ったのだと思っています。

石原 モチベーション維持やスト
レス発散の方法はありますか。

網藏 モチベーション維持の方法と
しては、一歩でも、半歩でも前
進したこと、可能になった事柄をしっ
か

り自分の言葉で自分を褒めること、
小さいステップでも自分に〇評価を
あげています。褒める文化を大切に
しているので、他者に対しても同じ
ように褒める言葉をかけるように
しています。

ストレスの発散については、土日
祝日の午前中はジムで携帯もオフに
して一人の時間を過ごします。ジョ
ギングをしてからスパ、リラクゼ
ーション(サウナ・スポーツマッ
サージ)で心身ともにリフレッシュ
して新たな活力を生み出しています。
また年間で100本は観る映画やミ
ュージカル、矢沢永吉さんのライブ
に出掛けることもずっと続けている
趣味で



(株)ホスピタリティデザイン 横浜
代表取締役

石原 健

Profile > 桜美林大学経済学部卒業。日本ホテルスクール卒業。ホテル産業経営塾卒塾(第一期生)。ホテル センチュリー ハイアット勤務後、1989年、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルの開業準備室に第1期生として入社。国内外からのVIP対応等で、4度にわたる皇室接遇担当の栄誉も授かる。ウェスティンホテル仙台を経て、2014年、(株)ホスピタリティデザイン横浜を設立し、代表取締役。厚生労働省事業検討会委員、ホスピタリティ教育研究会 会長、HSN 会顧問、産業能率大学兼任教員など、宿泊・サービス業界団体や学校、企業などで活躍中。



連載

SERIES

連載

SERIES